



アンサンブルさくら
ヴァイオリニスト
柏原 大蔵

1976年愛媛県松山市生まれ。愛媛大学教育学部特別教科音楽教員養成課程卒業後渡欧し、プラハコンセルヴァトワールを修了。帰国後、「アンサンブルさくら」を結成し、身近にクラシック音楽を聞いてもらいたいと地域に出向いて演奏活動を展開。活動範囲は、愛媛県はもとより四国各県に及び。

私たちの街に音のシャワーを

私が留学していたチェコ共和国は、面積が北海道と同じで、人口は約一千万人の国であり、首都であるプラハは、中世のヨーロッパを思わせるとても美しい街でした。私はこの街にヴァイオリンの勉強をするために5年間滞在していました。プラハは、人口が松山市の約2倍の都市ですが、オーケストラ団体が6つ以上もあり、毎日街のいたるところで音が溢れていました。私は、本来クラシックは、ホールなどの音響設備の整った場所で楽しむものだと思っていました。しかし、チェコの人々がクラシック音楽を生活の一部として捉え、身近に感じて楽しんでいることを知り、それこそ

私が留学していたチェコ共和国は、面積が北海道と同じで、人口は約一千万人の国であり、首都であるプラハは、中世のヨーロッパを思わせるとても美しい街でした。私はこの街にヴァイオリンの勉強をするために5年間滞在していました。プラハは、人口が松山市の約2倍の都市ですが、オーケストラ団体が6つ以上もあり、毎日街のいたるところで音が溢れていました。私は、本来クラシックは、ホールなどの音響設備の整った場所で楽しむものだと思っていました。しかし、チェコの人々がクラシック音楽を生活の一部として捉え、身近に感じて楽しんでいることを知り、それこそ



がクラシック音楽の本来あるべき姿だと思いました。チェコでの留学生活を送っているうちに、日本とヨーロッパの音楽文化の大きな差に気づき、日本に帰ってクラシック音楽の浸透に力を注ぎたいと感じた私は、帰国した現在、一人でも多くの人々に生の演奏を聴いてもらうため、地域のお寺や神社・学校・公民館など様々な場所や行事などに出向き、演奏しています。演奏会が終わり、お客様に感想をお聴きすると「初めて生のクラシック演奏を聴きました。やはり生の音はCDやテレビとは全然違うんですね。」という声をよく耳にします。演奏会が終わったあとのお客様の笑顔や朗らかな声を聞くと、音楽の大切さや人々に与える影響を実感し、もっと多くの人々に音のシャワーをお届けしたいと強く思うのです。

今後は、私が留学していたヨーロッパのように、音の溢れる地域を目指し、その為に演奏活動をしていければ幸せだと感じています。

坂の上の雲ミュージアム落成記念式典での演奏

『新居浜市まちづくり協働オフィス』 ～市民の手による「まちづくりセンター」を～

この7月1日でちょうど満1歳。新居浜市役所のすぐ近く、市民文化センター本館1階にある。市民の自主的な活動を市民がサポートする活動拠点として新居浜市が設置した。企画運営は「NPO法人にはま市民企画ノック」が当たっている。現在の利用団体は115団体で、20名程度が収容できるミーティングスペースがあり、作業スペースではOA機器や印刷機器などを気軽に利用できる。各団体が活動を紹介・発表する展示コーナーや団体毎のメールボックスなどもある。米谷事務局長は、①情報の拠点として収集と活用を図る、②積極的に団体の活動をバックアップする、③団体同士の連携や交流をはかりネット



ワークづくりを行うなど、新居浜市の「まちづくりセンター」としての活動を目指したいと抱負を語った。現在、市民のまちづくりへのアイデアや願いをワークショップを通して現実的な提案にまとめようというプロジェクトがスタート。11月3日には提案への賛同や協力を広く呼びかける公開プレゼンテーションを開催する。今日も協働オフィスではまちづくり人の明るい笑い声が聞こえ、新居



浜市のまちづくりの輪が広がりを見せている。

《利用時間》10:00～21:30
《休館日》毎週月曜日、祝祭日
《問い合わせ》新居浜市まちづくり協働オフィス
TEL 0897-65-3158
ホームページ <http://niihama-kyodo.jp/>



【お知らせ】

えひめ地域づくり研究会議 20周年記念誌発行

えひめ地域づくり研究会議が発足して20年。まち・むらのあるべき姿を語り合い、人と情報のネットワークを旗印に「風おこしのちかい」のもと動いてきた研究会議。その研究会議が20周年の節目に記念誌を発行しました。

内容は、一年間をかけて取り組んできた県内を結びリレーシンポジウムの報告、そして、発足と同じく内子座で開催した20周年記念シンポジウムの模様を掲載。また、県内外のまちづくり人(びと)からのメッセージや研究会議に関わってきた歴代所長・研究員のコメント、研究会議の代表運営委員四者による会談など盛りだくさん。

研究会議では、この記念誌を1冊500円で販売。問合せ先は、えひめ地域づくり研究会議事務局(松山市三番町4丁目10-1(財)えひめ地域政策研究センターまちづくり活動部門内)089-932-7750まで。

えひめ地域づくり研究会議 2007
創立20周年記念誌



(財)愛媛県市町振興協会からのお知らせ

宝くじに当

ド
ン
と



1等・前後賞合わせて

サマージャンボ 3億円

◎1等/2億円 ◎1等前後賞/各5千万円 ◎2等/1億円

2007年 市町村振興宝くじ 7/19(木) 発売

発売期間: 7/19(木) ~ 8/7(火)
抽せん日: 8/16(木)

この宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

【編集後記】

「出会い」は不思議である。二十代後半にパソコンと出会い、四十歳で気象の道に入った。五十歳で「朝フル」と出会い、10kgの減量に成功し、成人病予備軍の汚名を返上した。芥川賞作家の宮本輝さんによれば、人間は目に見えぬ基底部に同じものを有している人と出会うのだという。世の中には様々な人たちがいるが、その出会いは決して偶然ではない。人が人を呼ぶのである。子どもの頃に宮沢賢治に出会ったのが私の人生の出会いかも知れない。後半生は舞たうん89号の表紙を飾った「あらし山荘」で、宮沢賢治の羅須地人協会のような私塾を開くことが夢である。そのために出会いを重ね、農業人として歩んできたような気がする。(清水)

内容についてのご意見やまちづくり活動のトピックなどありましたら、お気軽に『舞たうん』編集係までお寄せください。
〒79010003

松山市三番町四丁目十番地一
愛媛県三番町ビル二階
(財)えひめ地域政策研究センター

まちづくり活動部門
TEL089(932)7750
FAX089(932)7760
発行/平成十九年七月二日

(財)えひめ地域政策

研究センター

印刷/岡田印刷株式会社

<http://www.ecpr.or.jp> E-mail: info@ecpr.or.jp

本誌は、(財)愛媛県市町振興協会の委託を受けて発行しています。